

かざ

ぐるま

# 風車

紀州の歴史と文化の風

文化財センター季刊情報誌【かざぐるま】

2020 秋号

# 92

公益財団法人 和歌山県文化財センター

特集

結城城跡、  
里野中山城跡の発掘調査成果



里野中山城跡と枯木灘をのぞむ（西から）

# 特集 結城城跡、里野中山城跡の発掘調査成果

## はじめに

結城城跡、里野中山城跡の発掘調査は、国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所によって計画された一般国道42号すさみ串本道路建設事業に伴って実施しました。すさみ串本道路建設の計画延長は19.2kmにも及び、その事業予定地には複数の周知の埋蔵文化財包蔵地が含まれます。

このことから、道路の建設予定地である、東牟婁郡串本町有田上所在の結城城跡、西牟婁郡すさみ町里野所在の里野中山城跡において、令和元年度に当文化財センターが発掘調査を実施しました。

## 結城城跡の調査成果

結城城跡は海に向かって開けた谷の奥にある、標高84mの山頂にあります。堀・土塁・曲輪で構成される、比高(麓との高低差)75mの山城跡で、古座川への道沿いに位置する陸海の交通の要所にあります。築城年代や築城者は不明ですが、地元では鎌倉公方・足利持氏の遺児とともに関東管領上杉氏や幕府

に反抗して常陸結城城合戦で敗れ、討ち死にしたとされる、結城少将氏朝が逃れ住んだと伝えられています。

令和元年8月から9月に結城城跡の西麓の一部(調査面積・約100㎡)を調査しました。多くの柱穴や小穴を検出しましたが、明確な建物跡は確認できませんでしたが、小穴から瓦質挿鉢など室町時代から安土桃山時代の遺物が出土しました。直径約2m、深さ1m以上の石積井戸とその井戸に続く石列も確



結城城跡・里野中山城跡 位置図



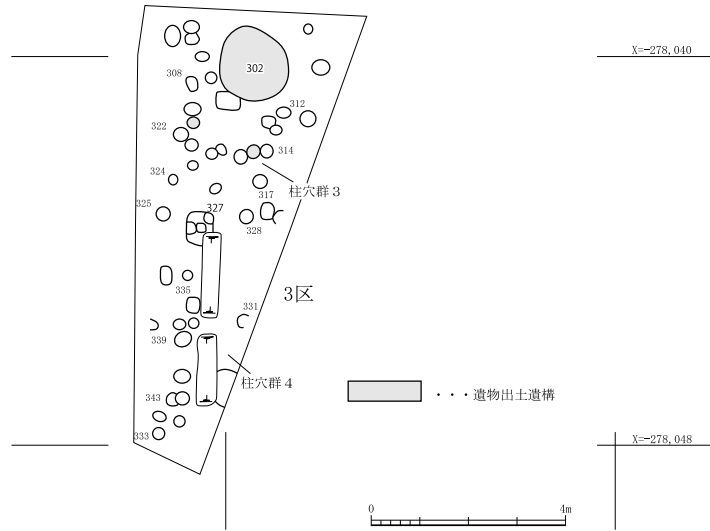
結城城跡 石積井戸

認され、井戸内から美濃焼皿、唐津焼鉢などの安土桃山時代から江戸時代初め頃の陶器片が出土しました。

今回の発掘調査によって、井戸や柱穴を含む遺構、出土遺物などが確認されたことから、山城の存在した中世後期から近世にかけて、結城城の南麓周辺で城下の集落の様子的一端が伺えました。

## 里野中山城跡の調査成果

里野中山城跡は、枯木灘<sup>なだ</sup>を望む標高35mの丘陵上にある、比高25mの山城です。周辺の城館跡は多くなく貴重な遺跡のひとつですが、過去に踏査以外の調査例がなく、山城の



結城城跡 遺構平面図

築城年代や築城者も不明です。地元では、「中山城」ではなく「城屋敷」として伝えられ、伊豆の伊東祐親の末裔が日向国より逃がれ住んだとされていますが、確かなことはわかりません。

近世末から近代以降に開墾され、山の西斜



里野中山城跡 調査地遠景 (西上空から撮影)

面にカキヤスギ、ヒノキなどを植えた段々畑として築かれた石積と西麓まで続く石段が現在も残っています。  
令和元年9月から実施した発掘調査(調査面積・1700㎡余り)によって里野中山城跡は東西南北の四方に土塁(防御のための土手)を巡らせた山城跡と確認されました。山頂の地面を削って平坦地(曲輪)をつくり、その際に出た土を外側に盛って土塁としてい



里野中山城跡 曲輪と土塁（南西から撮影）

ます。曲輪は東西29m、南北23～38mの台形をしています。後世の耕作や自然崩落などによって曲輪や土塁、東西の斜面も削られて元の状態が分かりにくくなっています。北土塁では曲輪の床面から高さ3m以上が残っており、北・東土塁の内側には犬走状の段があります。土塁の一部が繋がっていない部分があり、虎口（出入口）の可能性もあります。曲輪東南側には南北方向に延びる長さ14mほどの踏み固めたような通路状の遺構がありま

す。その東隣には下層の岩盤を削ってつくられた円形の大きな土坑があり、雨水などを貯めた水溜めではないかと考えています。曲輪や東斜面の堆積土から、唐津焼の茶碗や備前焼の播鉢などの、安土桃山時代から江戸時代初め頃の遺物が出土しました。山城の存続時期を示すものと思われま

す。天文二十二（一五五三）年の「周参見慶春判物（久木小山家文書）」（和歌山県立博物館蔵）から、周参見氏と久木小山氏で見老津・吉見（現すさみ町）の領地について相談したことがわかっています。見老津は熊野古道大辺路沿いであり、吉見は江住にあたります。久木小山氏もすさみ町の沿岸部で何らかの権利をもっており、両氏の領地境界が、当時の見老津・江住辺りにあったものと思われま

す。また、「里野浦」は、『紀伊統風土記』によると、「江住の東24町にあつて荒磯」と記されています。これらことから里野中山城跡は久木小山氏の影響下にあった山城であった可能性もあります。

周辺で周参見氏と久木小山氏の勢力のせめぎあいがあったかもしれないと想像すると歴史のロマンを感じま

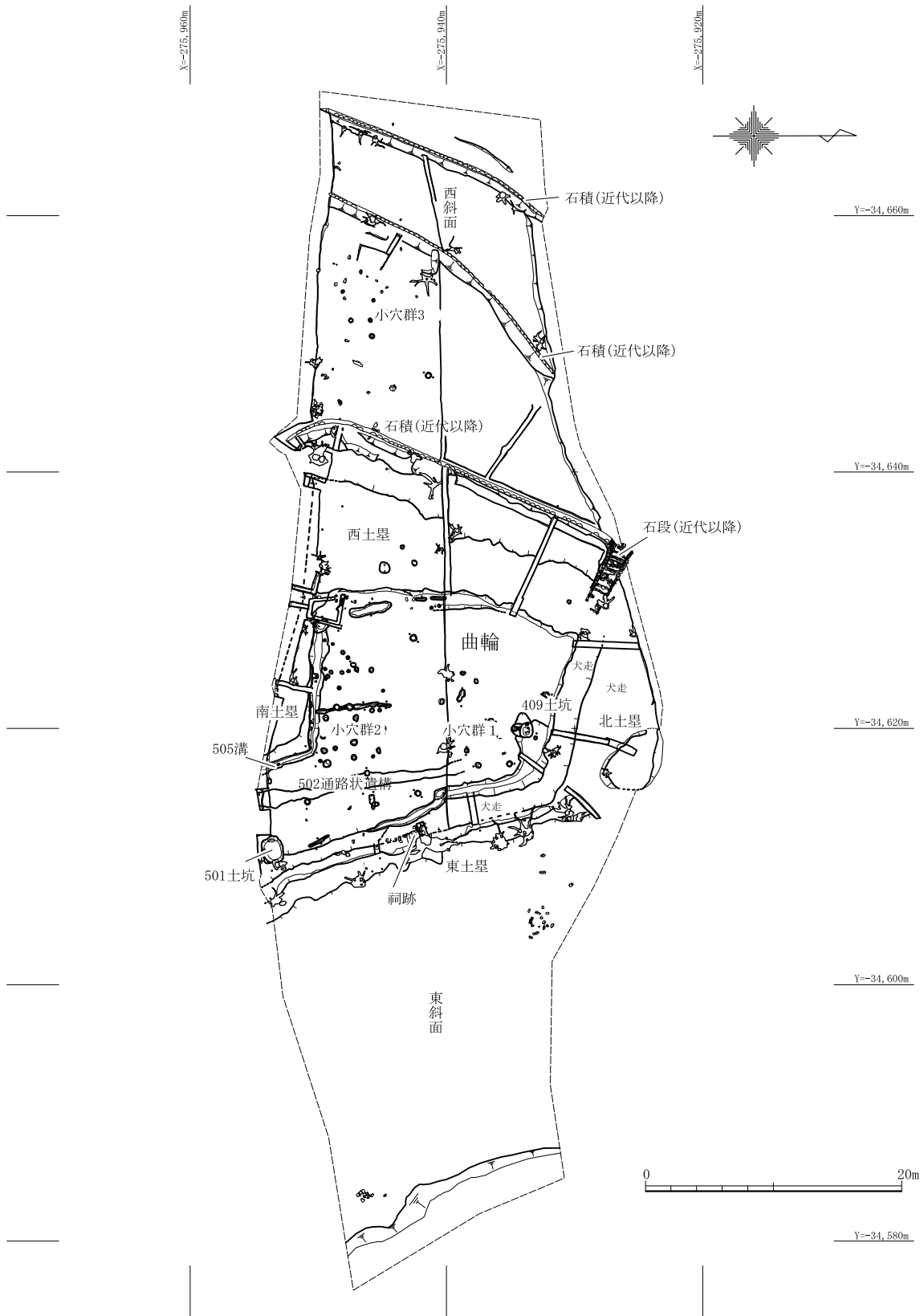
（田之上 裕子）



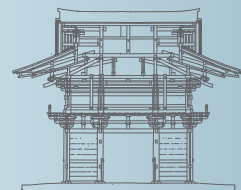
里野中山城跡 調査全景（南上空から撮影）

参考文献

和歌山県立博物館『戦乱のなかの熊野―紀南の武士と城館―』2020年



里野中山城跡 遺構平面図



## 県指定名勝藤崎弁天 弁天堂の修理工事

藤崎弁天は、紀の川や龍門山を臨む景勝地として県の名勝に指定されています。『紀伊国名所図会』（一八三八）において紀の川随一の景観と紹介されているほか、幕末には琵琶の名手・古岳幽眞が古岳庵を構え、明治期に外務大臣を務めた陸奥宗光が別荘として所有した時期もありました。

弁天堂は江戸時代に建てられた4m四方ほどの小さな仏堂です。来歴について詳しいことは分かっていませんが、彫刻部材などには、江戸前期と幕末頃の異なった特徴の意匠が混在しています。修理に伴い調査を進めたところ、そのことを裏付ける二枚の木札が発見されました。一枚には『萬延元年』（一八六〇）『奉修理辨天堂』『翠山古岳庵』と記載されており、古岳幽眞が既存の建物を幕末期に改修した際の修理棟札であることが判明しました。さらに屋根裏の部材に釘止めされた祈禱札には『元禄拾四年』（一七〇一）と記されていました。



昭和38年の古写真（地元市民提供）

建物の建立に関する記述は認められないものの、弁天堂が元禄期には既に建てられたことがわかり、建物の特徴とも合致します。

弁天堂に祀られる弁財天は音楽の神様であり、古岳幽眞との縁が覗われます。また水の神様でもあり、藤崎には元禄十二年（一六九九）に井堰が設けられており、紀の川の治水の要所の鎮守として建立されたのかも知れません。保管されていた鬼瓦には波の模様が施され、古写真に写る棟の瓦は青海波の文様に積まれるなど、水との縁を感じます。

白蟻による破損が顕著となっており、令和二年から2年間の事業として修理を実施するこ



柱上の実肘木の渦型の彫刻に近世前期の特徴、楠材の横羽目板壁に地域性が確認できる。

進めたところ、建物の大部分に建立当初の状態が残り、壁や床には幅60cmほどもある楠材が用いられるなど、室町時代から近世初頭にかけての和歌山に固有の特徴が確認されました。また正面の向拝は幕末に増築され、本瓦葺きであったこと、大正時代には正面の建具が入れ替えられたことも分かりました。今回は古岳幽眞が整えた幕末期の姿に復する方針で、修理を進めていきます。

ととなり、現在分解工事を終え、部材の修理を進めています。分解に伴う調査や、古写真等の資料調査を

## 建具のはなし② 濱口家住宅御風楼 — 眺望を活かす戸袋 —

広川町に濱口家住宅御風楼という建物があります。木造三階建ての壮大な迎賓施設で、上階は三方に縁を設けてガラス戸を建て込んだ開放的な近代和風建築となっています。

ガラス戸を通して、視界に入り込む西面北寄りに設けられた戸袋は、海側の眺望を遮らないように面白い仕掛けを取り入れています。その戸袋の下部には岩の重りが鉄鎖によって吊るされており、雨戸を戸袋に収納した後は、重りを利用して戸袋自体が二階部分に格納される仕組みとなっています。この仕組みによって、北、南、西の三面が完全に開放され、広川町に広がる海湾の大パノラマを堪能することが可能な設計がなされています。

現在は残念ながら、この画期的な仕掛けは動かすことが出来ませんが、明治時代後期の建築に関わった人々の発想力や技術力に尊敬の念を抱くとともに、当時、動いているところを見た客人は、さぞかし驚いただろうと想像しました。

(大給 友樹)



鉄棒をつたって降りていく

戸袋の仕組み

## きのくに歴史小話

～きのくにれきしこぼなし～

### 埋蔵文化財課 キになる話

気になる話があるんです。聞いていただけますでしょうか。

むかし、むかし、和歌山県のある、この地域には立派な木がたくさん生えていたので、木のクニと呼ばれていたそうです。

昔の中国の歴史書「魏志倭人伝(魏書東夷倭国条)」には、あの邪馬台国とともに「鬼国」が登場します。キコク、キのクニ……。表記上の問題ですが、そのクニは木のクニと同じクニなのか、鬼みtainな奴らにいた別のクニなのか、気になるところですね。

クニの名である「紀」が「紀伊」と書かれるようになったのは、和銅六(七一三年)の「好字二字令(諸国郡郷名著好字令)」によるもので、それまでこの地域は「鬼・木・紀」など一文字で表記されていたようです。

従来「紀の川」は現在の和歌山市「木ノ本」の手前で南に湾曲し、「紀水門」と呼ばれる港湊群が形成されていました。古墳時代には、その北岸に勢力をもち中央へ進出したとみられる紀臣と、南岸に勢力をもち、のちに紀伊国造になった紀直という二つの大きな紀氏の集団がいたようです。

古墳時代中期には、紀氏は海沿いに南へと勢力をひろげ、有田郡、日高郡といった範囲が「紀」になりました。この両郡よりさらに南、紀国造の南には熊野国造がいましたが、勢力が弱く、律令国家になる段階で熊野の地も「紀」になりました。

このように長い年月をかけて、「キ」は次第にその範囲を広げてきました。このままいけば、千年後には、「キ」の範囲は地球を越え、他の星まで到達しているかもしれません。

そういえば、火星の向こうには、その候補となる星「木星」がありましたね。そう、「きのせい」と呼ばれる、あの星です。

(丹野 拓)

## 催し物案内 和歌山県内の文化財関係イベント情報 (2020年秋～2020年冬)

### 和歌山県立紀伊風土記の丘

- 秋期特別展「埴輪が語る古墳の祀り」 2020年10月3日(土)～2020年12月6日(日)
- ミニ展「ジュニア考古学研究応募作品展」 2020年12月5日(火)～2021年1月11日(月・祝)

### 和歌山県立博物館

- 創建1250年記念特別展「国宝粉河寺縁起と粉河寺の歴史」  
2020年10月17日(土)～2020年11月23日(月・祝)

### 和歌山市立博物館

- 企画展「新収蔵品展」 2020年10月3日(土)～2020年11月15日(日)
- 特別展「紀三井寺展」 2020年10月31日(土)～2020年12月13日(日)

### 高野山霊宝館

- 大師号下賜1100年記念大宝蔵展「高野山の名宝 皇室と高野山」  
2020年10月3日(土)～2020年12月6日(日)
- 冬季平常展「密教の美術－経典と仏さま」  
前期:2020年12月12日(土)～2021年2月7日(日)  
後期:2021年2月9日(火)～2021年4月11日(日)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、期間変更や中止となる可能性があります。  
掲載内容から変更される可能性があります。詳細は各施設へお問い合わせください。

#### 目次

- 1 表紙
- 2 特集「結城城跡、里野中山城跡の発掘調査成果」
- 6 文化財建造物課課 短信「県指定名勝藤崎弁天 弁天堂の修理工事」
- 7 きのかに歴史小話「建具のはなし② 濱口家住宅 御風楼 一眺望を活かす戸袋」  
「キになる話」
- 8 催し物案内

## 風車92 (2020・秋号)

令和2年11月30日

(公財)和歌山県文化財センター

URL <http://www.wabunse.or.jp/>

(公財)和歌山県文化財センター

【事務局】 〒640-8301 和歌山市岩橋1263番地の1  
TEL 073-472-3710 FAX 073-474-2270  
kanri-2@wabunse.or.jp



LINE公式アカウント

ID: @942tjyhk

